



2. 道路

道路を構成する重要な要素（交差点や舗装、植栽など）に分類し、ゆとりと潤いある道路景観の観点から配慮すべき事項の実現に向けて、それぞれの要素について具体的な事例を紹介します。

良好な道路景観を形成するため下記の事項に配慮し、街並みと調和した亜熱帯の緑豊かなデザインを心がけることが重要です。

【良好な道路景観を形成するための事項】

(1) 心地良い歩行空間

- ①歩行空間を可能な限り広く確保し、安全で快適なゆとりある歩行空間の確保に努めましょう。
- ②緑陰が形成された潤いのある歩行空間の創出に努めましょう。
- ③電線地中化、道路標識類の統廃合などスッキリとした歩行空間の確保に努めましょう。
- ④道路構成要素は、デザインの統一に配慮すると共に、周辺景観(風景)に馴染むデザインとなるよう努めましょう。
- ⑤ユニバーサルデザインやバリアフリーに配慮する際は、景観的観点も含めた総合的なデザインに努めましょう。

対象項目

- 2-1 交差点
- 2-2 歩道橋
- 2-4 トンネル
- 2-5 バス停
- 2-6 道路照明・電柱
- 2-7 舗装
- 2-8 植栽
- 2-10 自転車通行空間
- 2-11 橋梁
- 2-12 その他

(2) 地域個性や地域資源に配慮した道路線形

- ①地域資源や重要公共施設等をアイストップとするビスタ(見通しの良い景観)に配慮した平面線形(直線)に努めましょう。
- ②進むにつれて変化するシークエンス景観に配慮した平面線形(曲線)に努めましょう。
- ③上り坂では頂上付近にランドマークを配し、下り坂では海など地域資源を眺望できるなど、地形の特徴をいかした縦断線形に努めましょう。

対象項目

- 2-1 交差点

(3) 『「亜熱帯庭園都市」なは』のイメージを演出する植栽

- ①道路には可能な限り植栽を施しましょう。
- ②亜熱帯イメージを創出する樹種、地域個性と調和した樹種、在来種を中心とした樹種など周辺景観に配慮した樹種選定に努めましょう。樹種選定にあたっては、維持管理しやすい樹種を選定しましょう。
- ③沿道樹木との関連性に配慮した整備を図りましょう。

対象項目

- 2-1 交差点
- 2-8 植栽

(4) 沿道空間との一体的な整備

- ①道路残地については有効活用を図りましょう。
- ②公園等の公共施設との一体的整備を図りましょう。
- ③法面等、沿道地形の活用を図りましょう。

対象項目

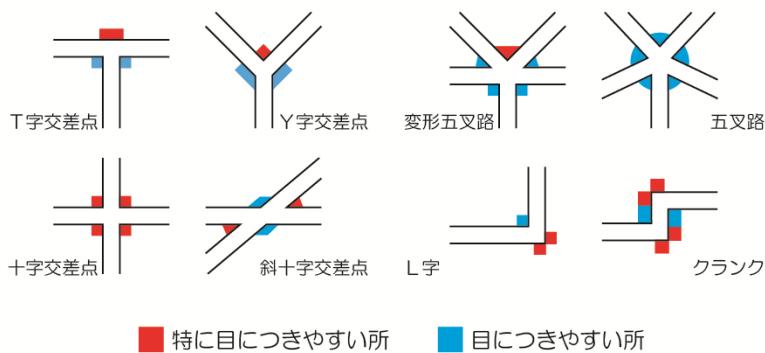
- 2-3 法面・擁壁
- 2-9 交通広場

2-1 交差点

デザインの Point

- ◆ 沿道の要素も取り入れた交差点全体の調和に配慮しましょう。
- ◆ 交差点に「隅切り」を設けることを基本とし、見通しの良い余裕のある道路空間を創出し、歩行者の快適な滞留スペースを確保することが望ましいです。
- ◆ ネットワークの結節点として、ランドマークとなるアイストッパー(シンボルツリー、モニュメント、象徴的な建物など)を形成することが望ましいです。
- ◆ 景観的に重要な樹木などの景観資源を積極的に活用することが望ましいです。
- ◆ 立体交差の高架構造や掘割構造は、洗練されたシンプルな構造とすることが望ましいです。

【交差点改良による景観形成】



見通しの良い交差点



交差点の隅切り部(歩道部の幅員)を大きくすることで見通しの良い交差点を形成【那覇市:農連中央市場周辺】



交差点の歩道部に広場を設けることで見通しの良い交差点を形成【那覇市:県庁北口交差点】



アイストッパー



地域のランドマークとなるガジュマル
【那覇市：那覇市役所前広場】



交差点部に花壇を設け、樹木や花を植栽し、景観に配慮した事例
【那覇市：真地】

樹木等を活用した景観形成



交差点部に高木を植栽することで緑陰を創出した事例
【那覇市：那覇市役所前広場】



交差点部に植栽した樹木と休憩スペースと一緒に整備した事例
【那覇市：壺屋】

立体交差



立体交差の高架部分のデザインをシンプルにして、光が差し込むように工夫した事例
【那覇市：安里交差点】

2-2 歩道橋

デザインの Point

- ◆ 歩道橋を整備する際は、できるだけ周囲との一体的な整備を図り、景観に馴染むよう配慮しましょう。
- ◆ 道路景観に煩雑感を与えないようスレンダーな形態としましょう。
- ◆ 歩道橋は道路の上部にあるため、“軽さ”を感じる色彩（明度が高く、彩度が低い）とすることが望ましいです。
- ◆ 公共公益的施設が隣接する場合は、階段取り付け部を建物の中に一体的に取込むことで、煩雑さを軽減することができます。
- ◆ ランドマークやアイストッパーとしての目的を持たせる場合は、安易に華美なデザインとならないよう周辺景観と馴染ませる工夫を図ることが望ましいです。

周辺との一体的な整備に配慮した歩道橋



駅、交通広場、商業施設と一緒に整備された歩道橋

【那覇市：小禄駅前】



交差点整備の際に周辺の歩道と一緒に整備を行った事例

【宜野湾市：我如古交差点】

色彩や形態に配慮した歩道橋



側面部を桁下から見て軽快で明るい印象を与える事例

【那覇市：那覇東バイパス】



側面部を桁下から見て軽快で明るい印象を与える事例

【那覇市：赤田交差点】



建築物と一体的に整備した歩道橋



モノレール駅、バスターミナル、公共公益施設、商業施設の建物と一緒に整備された歩道橋
【那覇市：旭橋】

ランドマーク



地域のランドマークとなっている歩道橋（おもろ天空橋）
【那覇市：新都心公園周辺】



地域のランドマークとなっている歩道橋（おもろ花風橋）
【那覇市：那霸中環状線】



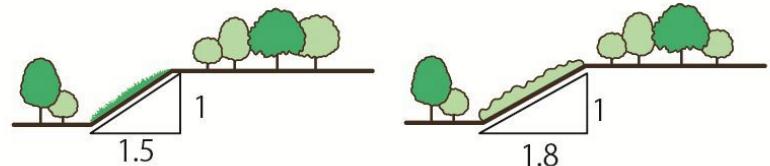
道路

2-3 法面・擁壁

デザインの Point

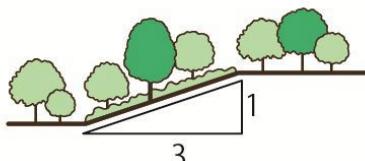
- ◆ 土羽法面は豊かな修景緑化が図れる勾配（1:3 以上）を基準とし、最大勾配は 1:2 までとすることが望ましいです。
- ◆ 法面や擁壁は、修景緑化を行うことを基本とし、周辺景観に配慮しましょう。また、維持管理が行いやすいデザインに配慮することが重要です。
- ◆ 拥壁の高さが目線の高さ（概ね 1.5m）を超える場合は、全体の高さを 1 枚のものとせず、小段を設けて植栽空間などを確保し、分節化を図ることで人工構造物としての見え方を小さくすることができます。
- ◆ 石積み擁壁などは周辺景観に馴染みやすくなるため、擁壁に自然石を用いるよう努めましょう。
- ◆ コンクリート擁壁の場合、化粧型枠などを活用した表面処理（はつり風、割肌風、スリット、リブなど）を施し、凹凸や陰影、ざらざらした質感を形成することで、人工的でのっぺりとした印象を軽減できます。

【法面への修景緑化のイメージ】

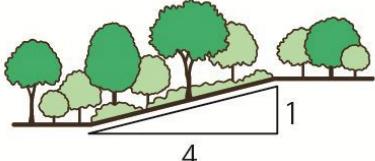


【植栽可能樹木・地被・芝】

【植栽可能樹木・地被・低木】



【植栽可能樹木・地被・低木・中木】



【植栽可能樹木・地被・低木・中木・高木】

緑化に配慮した法面・擁壁



表面を緑化した事例

【那覇市：シュガーローフビル周辺】



小段を設け植栽空間を確保した事例

【北中城村：ライカム周辺】



道路

自然石の活用



琉球石灰岩を活用した事例
【那覇市：首里城周辺】



琉球石灰岩を活用した事例
【南風原町：高津嘉山トンネル周辺】

コンクリート法面・擁壁の修景事例



擁壁の表面に凹凸をつけ、のっぺりとした印象を軽減した事例
【那覇市：泊小学校周辺】



デザイン性に配慮した表面でののっぺりとした印象を軽減した事例
【那覇市：興南高校周辺・国道 330 号沿い】

公共コラム

モノレール視点からの景観



モノレールにおける高い視点からの眺望も重要な景観要素となっています。

そのため、緑の斜面や稜線の保全については良好な自然景観を形成するための重要な要素となります。

また、自然景観のみならず法面や擁壁についても緑化を図るなどの工夫を行い、良好な景観形成を行うことが望ましいです。



【那覇市：儀保駅～首里駅・虎瀬公園（整備中）】

2-4 トンネル

デザインの Point

- ◆ 坑口のコンクリート壁面部分を小さくする工夫を図ったり、坑口や坑口周辺への緑化を図ったりするなど、周辺環境との調和した型式・工法に努めましょう。
- ◆ コンクリート壁面の場合、化粧型枠などを活用した表面処理(はつり風、割肌風、スリット、リブなど)や自然石の石張りを施し、凹凸や陰影、ざらざらした質感を形成することで、人工的でのっぺりとした印象を軽減できます。
- ◆ 坑口壁面はドライバーの目に馴染むような輝度に努めましょう。
- ◆ 坑口周辺に設置する擁壁も一体的に検討するなど、進入する際の心理的圧迫感の少ないデザインに努めましょう。
- ◆ 内部空間は、照明、換気などの設備施設と一体的なデザインを図ると共に、維持管理や安全に配慮し、広く明るく見せるよう努めましょう。

坑口周辺の緑化



坑口部を緑化し、周辺の景観に配慮した事例
【那覇市：首里城周辺】



坑口の周辺を緑化し、周辺の景観に配慮した事例
【那覇市：海軍壕公園周辺】

一体的なデザインへの配慮



周囲の擁壁と一体化させ、擁壁部に植栽し、通行車への配慮も行っている事例【南城市：ニライカナイ橋周辺】



坑口部を琉球石灰岩で仕上げ、良好な景観を創出した事例
【南風原町：つかざんトンネル】



2-5 バス停

デザインのPoint

- ◆ 滞留空間として、上屋や緑陰形成により日陰スペースを確保し、居心地の良い空間の形成に努めましょう。
- ◆ 上屋やベンチなどは、歩行者の動線に配慮すると共に、景観的に唐突な印象を与えない違和感のないデザインに努めましょう。
- ◆ 歩道舗装と異なる舗装を用いる等の工夫を図る事によって、滞留空間を意識させることができます。但し、周辺景観との調和に配慮しましょう。
- ◆ 狹い歩道にあるバス停については、上屋や緑陰樹植栽などができる空間を確保できるよう周辺との一体的な整備に考慮しましょう。

景観に配慮したバス停



琉球石灰岩を活用し、周辺の景観と調和させたバス停
【那覇市：首里城周辺】



バス停の屋根部に植栽のデザインを行った事例
【那覇市：山下バス停】

周辺との一体的な整備を図ったバス停



木と琉球石灰岩を活用したバス停。背後の真地公民館と一緒に整備した事例【那覇市：識名園前バス停】

<第13回 那覇市都市景観賞>



バス停側の住宅の一部をシェルターとして活用し、住宅と一緒に整備されている事例【那覇市：金城二丁目バス停】

2-6 道路照明・電柱

デザインの Point

- ◆ 歩道照明を整備することが困難な場合は、電柱などと共に使うよう配慮しましょう。
- ◆ 車道照明や歩道照明の形態はシンプルにできるだけ細く見せるよう配慮しましょう。また、色彩は周辺景観にとけこむ色彩を基調としましょう。
- ◆ 車道照明や歩道照明の柱など地域の個性を反映したデザインとする場合は、歩道舗装デザインなどと一貫したデザインに配慮すると共に、過度な装飾や具象的なデザインは避け、目立ち過ぎないよう十分な検討を図りましょう。
- ◆ 景観的に配慮した方が良い通りの電柱は、極力歩道内への設置を避けるよう電線地中化、裏配線、軒下配線など工夫を図りましょう。
- ◆ 電柱を設置する場合は、周辺景観にとけこむ色彩としましょう。

シンプルで周辺景観にとけこんだ道路照明・電柱



シンプルな形状で周辺の景観に溶け込む色彩とした事例
【豊見城市:真玉橋周辺】



車道照明の下部を琉球石灰岩風にデザインされた事例、また、その上部は貼り紙が容易に行えないように対応した事例【那霸市:新都心周辺】



地域の個性をデザインに取り入れた照明



地域の個性をデザインに取り入れた事例
(やちむんの模様をデザイン)
【読谷村:やちむんの里】



地域の個性をデザインに取り入れた事例(右写真:かすりの模様をデザイン)
【南風原町:南風原町役場前】





2-7 補装

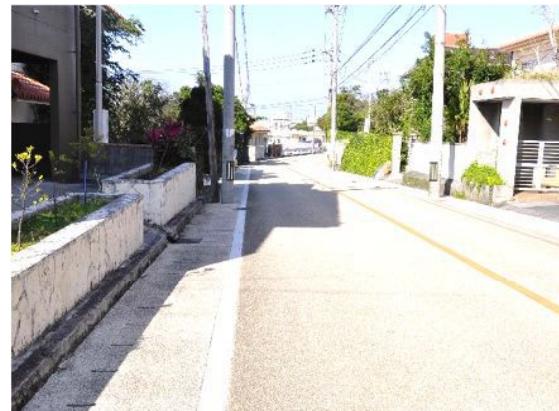
デザインの Point

- ◆ 機能面や維持管理面などから、原則的に素材特性の優れたアスファルト系とするのが望ましいです。
- ◆ 車道舗装において、路肩や停車帯、バスレーン等を区別する必要がある場合は、異なる素材により変化を与えることが望ましいです。
- ◆ 周辺景観に配慮した落ち着いた空間を創出するため、歩道の舗装に自然石舗装や石粉風舗装を活用することを基本とし、特に自然景観や歴史景観に配慮する地域においては、可能な限り車道についても自然石舗装等の活用に努めましょう。
- ◆ 商店街や繁華街など人通りの多い地域では、歩車道の舗装にインターロッキング、レンガなど多様な素材を活用することで、賑わいある空間を演出することができます。また、車道と歩道との段差を解消するなどの検討を行いましょう。
- ◆ 但し、具象的な舗装デザインまたは、唐突で過剰な舗装デザインとならないよう十分な検討を行いましょう。また、車両の乗り入れ口等の改良工事（歩道の切り下げ等）を行う際は、舗装の不陸（凸凹）等が生じない構造とし、景観にも配慮した整備を行いましょう。
- ◆ スリット側溝等を用いることで、すっきりとした道路空間が創出できます。

路肩や停車帯・歩道などのデザイン



停車帯の舗装に琉球石灰岩を活用するとともに、歩道との段差を解消し歩きやすい整備がなされている事例【那覇市:龍潭通り】



歩道部と車道部を同様のデザインとした事例
【那覇市:赤マルソウ通り】



スリット側溝により、道路全体の舗装がすっきりとしたイメージを創出した事例【浦添市:浦添グスク・ようどれ館前】



縁石の下部に側溝を設けた事例
【福岡県:博多駅前通り】

アスファルトの活用事例



周辺の自然景観と調和を図るため、歩道に石紛風舗装(脱色アスファルト舗装)を用いた事例【恩納村:国道 58 号】



周辺の歴史景観に配慮し、車道のアスファルト面に歩道舗装と同系色の遮熱性塗装を用いた事例【那覇市:龍潭通り】

自然景観や歴史景観に配慮した舗装事例



周辺の自然景観と調和を図るため、歩道に石紛風舗装(脱色アスファルト舗装)を用いた事例【名護市:国道 58 号】



舗装に琉球石灰岩を活用することで、歴史的な街並みを創出している事例【那覇市:首里大中町】

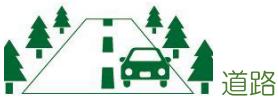
賑わいのある空間を演出する舗装事例



歩道との段差を解消するとともに、歩車道の舗装を一体的にデザインすることで、明るく楽しい空間を演出【北谷町:アメリカンビレッジ】



磁器タイル舗装により、賑わい溢れる沿道景観を創出した事例【那覇市:国際通り】



地域をイメージした舗装の事例

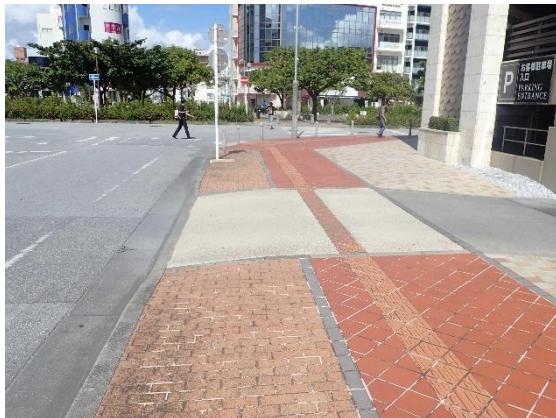


舗装に首里織の模様を施した事例
【那覇市：那覇クルーズターミナル】



舗装にかすりの模様を施した事例
【南風原町：南風原町役場前】

車両の乗り入れ口



商業施設等への乗り入れ部における舗装部については、周辺の舗装に合わせた整備及び修繕としましょう
写真左は周辺のデザインと統一されていない事例【那覇市：おもろまち】 写真右は周辺のデザインと統一された事例【那覇市：カフーナ旭橋】

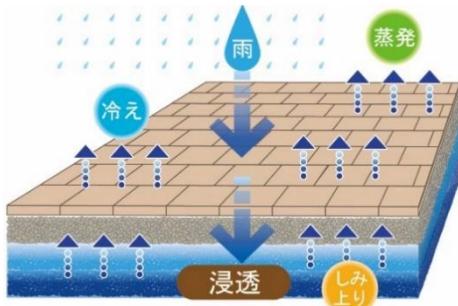


公共コラム

雨水の浸透（透水性舗装などの活用）



舗装材に多孔質な素材を用いて雨水を自然に地中へ浸透させることで、雨水排水施設の負担軽減を図るとともに、周辺の樹木や草花の良好な生育を促すことができます。更に、蒸散効果により気温を低下させ、ヒートアイランドの抑制にも貢献します。



また、舗装面の一部を緑化することでも雨水を自然に地中へ浸透させることができます。さらに、潤いある街並み景観を創出することができます。

公共コラム

視覚障がい者誘導用ブロック

（通称：点字ブロック）について



視覚障がい者誘導用の点字ブロックやその周辺舗装の色彩は、点字ブロックの識別しやすい輝度比が求められますが、過去に整備されたものの中には、周辺の舗装と同色の点字ブロックも見られ、機能を満たしていないものもあります。点字ブロックを整備する際には、ユニバーサルデザインや景観的観点も含めた総合的なデザイン検討を行う事が重要です。

【色弱者に配慮した点字ブロックの事例】



白地の舗装に赤系の点字ブロックの事例

【那覇市：那覇バスターミナル周辺】



周辺の舗装に配慮し、点字ブロックの側に縁取りを設けた事例

【那覇市：沖縄県南部合同庁舎前】



周辺の舗装と明度を変えた点字ブロックの事例

【南風原町：南風原町役場周辺】



周辺の舗装に配慮した黄系の点字ブロックの事例

【北谷町：フィッシュリーナ】



2-8 植栽

デザインの Point

- ◆ 「亜熱帯庭園都市」なはとして緑豊かで彩りある植栽に努めましょう。
- ◆ できるだけ連続した緑陰を確保し、心地良い歩行空間の創出に努めましょう。
- ◆ 道路の位置づけやテーマを踏まえた樹種の選定や配植に努めましょう。
- ◆ 地域のシンボル的な既存樹木は、積極的に保全活用を図りましょう。また、沿道樹木との関連性に配慮した整備を図りましょう。
- ◆ 但し、歩道幅に合った樹冠を形成する樹種、海浜地域や風の強い箇所での耐潮風性に優れた樹種とするなど、立地箇所の道路構造や環境条件は十分に配慮した適切な樹種選定や配植に努めましょう。
- ◆ 歩行空間の確保や除草作業など維持管理の軽減に配慮し、植栽枠を基本とします。
- ◆ 植栽帯の採用は、将来的な維持管理の負担が植栽枠より大きいため、周辺の状況を踏まえた十分な検討を図りましょう。地域や企業等の協力が得られるか等も検討しましょう。
- ◆ 歩行空間を確保した上で、根系の生育空間である植栽基盤の十分な確保が図られるよう耐圧基盤材を用いるなどの工夫に努めましょう。

連続した緑陰を形成した歩行空間の創出



緑陰を形成した良好な歩行空間

【那覇市：城岳小学校沿い、リュウキュウマツ並木】

<第12回 那覇市都市景観賞>



緑陰を形成した良好な歩行空間

【那覇市：壺川駅近くモノレール沿い歩道】

道路(エリア、ゾーン、テーマなど)の位置づけを踏まえた道路植栽



地域のテーマを位置づけた道路植栽

【名護市：国道58号ブセナリゾート前】



まちづくりのテーマに沿ったイメージの道路植栽

【北谷町：アメリカンビレッジ内道路】

地域のシンボル的な既存樹木の活用



地域のシンボルとなっているガジュマル
【那覇市:城岳小学校周辺】



「ぐしちゃん福の木通り会」を結成し、景観美化活動を行っているフクギ
並木【八重瀬町:具志頭歴史民俗資料館周辺】

草花類や花木などを活用した道路植栽



沿道に花を植栽することで良好な景観を形成した事例
【南風原町:本部】



「トックリキワタ通り会」が美化活動を行っているトックリキワタ通り
【那覇市:与儀トックリキワタ通り】

沿道樹木と一体的となった道路空間



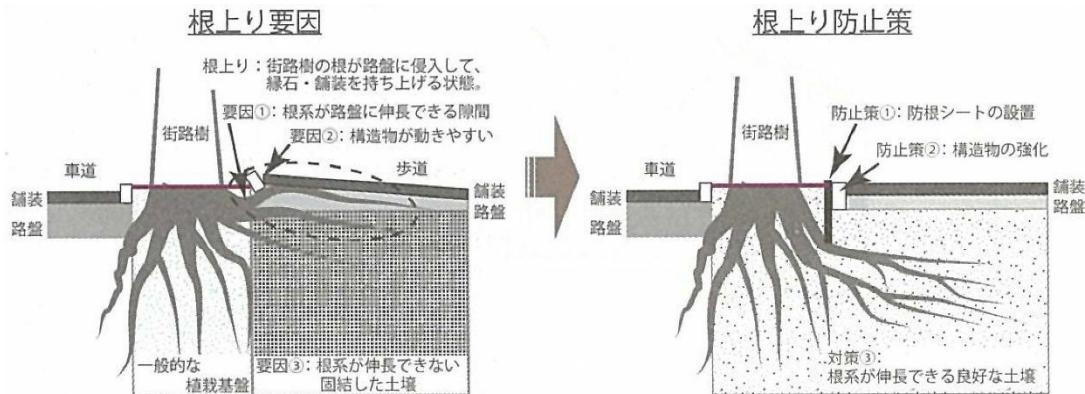
緑のトンネルを思わせる美しい道路空間を形成している事例
【那覇市:裁判所通り】<第9回 那覇市都市景観賞>



アカギやサガリバナにより良好な植栽空間を演出している事例
【那覇市:首里崎山町馬場通り】<第19回 那覇市都市景観賞>



根上り防止対策



道路緑化技術基準・同解説(平成 28 年 3 月 公益社団法人 日本道路協会) より

樹種によって舗装面を破損する可能性があるため、街路樹を植栽する際には、整備計画の段階から根上防止対策や植栽樹の大きさに応じた樹種の選定に配慮しましょう。



根上がりによる縁石の破損
【那覇市:前島】



根上がり防止対策を行った事例
【那覇市:開南小学校周辺】

公共コラム

地域住民の維持管理活動による景観形成



首里当蔵町2丁目県立芸大横のスージ[※]では花壇や生け垣等で緑化し、潤いと癒しを感じる景観を創出しています。

スージの緑化は地域住民の維持管理等により良好な景観を創出させ、2004 年度に「首里当蔵町2丁目のスージ緑化活動」として那覇市都市景観賞を受賞しています。



<第 13 回 那覇市都市景観賞>

※ スージ:路地のことと言います。

2-9 交通広場

デザインの Point

- ◆ 道路整備等における残地については、休憩施設（交流スペース）として活用し、周辺の公共空間と一体的な整備を行いましょう。
- ◆ 交通広場にはシンボルツリーとして花木や緑陰木を配植するなどランドマークやアイストップとしての機能を形成させ、また、ベンチなどを設け休憩スポットとしての活用も図りましょう。

公共空間と一体的な整備



道路整備における残地部分を休憩施設（交流スペース）として活用した事例【那覇市：龍潭通り】



道路整備における残地部分を休憩施設（交流スペース）として活用した事例【那覇市：崇元寺前】

休憩スペース



背後に広場を設け、木と琉球石灰岩を活用し、周囲の歴史性に調和された休憩施設（交流スペース）を確保【那覇市：龍潭通り】



道路の隅切り部を活用した休憩施設（交流スペース）の事例
【那覇市：壺屋】



2-10 自転車通行空間

デザインのPoint

- ◆ 自転車通行空間を整備する場合は、通行の妨げとなる段差などを解消し、かつ、滑りにくい構造としましょう。
- ◆ 自転車通行空間への誘導サインについては、シンプルかつ統一性のあるデザインを基調としましょう。
- ◆ 自転車通行空間への着色や進行方向の矢羽根型路面表示を行う際には、視認性や周辺の景観に配慮しましょう。
- ◆ 夜間の視認性を高めるため反射材を活用した設備を設置する際には、周辺の景観に配慮しましょう。

自転車通行空間の種類

自転車ネットワーク路線において検討すべき自転車通行空間のイメージ



■自転車道

縁石や柵、その他の工作物を用いて、自動車、自転車、歩行者通行の分離を図る。自転車道が設置された道路では、自転車は自転車道を通行しなければならない。

■自転車専用通行帯

車道に自転車が通行する専用通行帯（自転車専用レーン）の規制を実施し、自転車通行空間の明確化を図る。規制のための道路標示及び標識を設置する。

自転車専用通行帯（自転車専用レーン）が設置された道路では、自転車は自動車と同じ方向の一方向のみの通行となる。

■車道混在

自転車が本来通行すべき通行位置・通行方向を明示するために、矢羽根やピクトグラムを通行部分（左側端）に設置する。

車道混在は、上記「自転車道」「自転車専用通行帯」と異なり、交通規制は無いが、矢羽根やピクトグラム等を設置することで、自転車利用者にとって通行箇所が明確となるため、通行挙動の安定や逆走の防止、自動車ドライバーの自転車通行に対する意識啓発などの効果がある。

※那覇市自転車ネットワーク計画（基本計画編）計画書「2018年3月」より

自転車通行空間



縁石と植栽を活用し自転車道と歩行者専用道路を分離した事例【名護市:宮里・21世紀の森公園付近】



車道部に矢羽根型の自転車専用道路標示を行い、車道部と自転車専用部を分離した事例【名護市:宇茂佐の森地内】



交差点部に矢羽根型の自転車専用の道路標示をした車道混在型の自転車通行空間の事例【名護市:宮里・21世紀の森公園付近】

※自転車通行空間における色彩については、周辺の景観等に配慮して整備を行いましょう。

自転車通行空間の誘導サイン



夜でも視認しやすい配色とともに、周辺の景観に配慮した誘導サイン
【那覇市:壺川】



誘導サインの設置は行わず、路面に表示した誘導サイン
【名護市:宮里・21世紀の森公園付近】



2-11 橋梁

デザインのPoint

- ◆ 景観要素としての存在感が大きいことから、美しいデザインとなるよう配慮しましょう。
- ◆ 原則として、過度な装飾は避けたシンプルなデザインとし、周辺景観や周辺環境に溶け込むデザインとすることが望ましいです。
- ◆ 高欄は、安全性を確保した上で、橋梁内外部からの眺望性、圧迫感の軽減に配慮したデザインに努めましょう。地域の個性を反映したデザインとする場合は、過度な装飾や具象的なデザインは避けるよう十分な検討を図りましょう。
- ◆ 橋梁は、道路や河川の結節点やビューポイントにもなることから、橋詰め広場やバルコニーを設け、たまり空間を創出しましょう。

周辺景観に配慮したデザイン



白を基調としシンプルなデザインとした事例
【豊見城市:とよみ大橋】



側面部に琉球石灰岩を活用し、景観に配慮した事例
【那覇市:あがり橋】

たまり空間の創出



河川周辺と同様のデザインとしたたまり空間
【那覇市:あがり橋周辺】



たまり空間に緑陰を創出する樹木を植栽し、周辺の休憩スペースを設けている事例【那覇市:明治橋】

高欄のデザイン



軽便鉄道をモチーフとした事例【那覇市：宇久増橋】<第12回 那覇市都市景観賞>



高欄部に那覇の旗頭をデザインした事例
【那覇市：御成橋】



プラネタリウムをモチーフとした事例
【那覇市：久茂地橋】

公共コラム

橋桁下の有効活用



橋桁下を駐車場や公園として整備することで、有効活用することも考えられます。



橋桁下を公園として活用している事例
【南風原町：花・水・緑の大回廊公園】



橋梁下をパーク＆ライドの駐車場として活用している事例
【那覇市：安里交差点周辺】



2-12 その他(歩車道分離施設・ストリートファニチャー)

デザインのPoint

- ◆ 目立たず周辺景観と調和し、風景の一部として違和感ないデザインとすることを基本とします。
- ◆ 防護柵などの交通安全施設は景観と安全性の両立を図ったデザインとしましょう。
- ◆ 防護柵は、シンプルな形状、透過性、視線誘導などに配慮したデザインとし、連続する区間や範囲、上り線と下り線、または異なる構造種別で、デザイン(形状、色彩など)の統一感を持たせましょう。
- ◆ 景観に優れた他施設(防護柵の代わりとしての縁石や低木植栽)による代替策も含めた必要性も検討しましょう。
- ◆ 歩行者が直接触れることを勘案し、ボルト等の突起物、部材の継ぎ目等で危害を及ぼすことのない形状、肌触り感の向上など、人との親和性に配慮しましょう。
- ◆ ボラードやベンチは、周辺の街並みとの調和を図り、シンプルな形状で落ち着きを感じさせる色や素材に配慮しましょう。

景観に配慮した道路付属物等のデザイン



周辺の景観と調和させた車止め

【那覇市:龍潭通り】



周辺の景観と調和させた電線共同溝

【那覇市:国際通り】



防護柵をビーム状にすることで、透過性を向上させた事例

【福岡県:博多駅前通り】



シンプルな形状の車止め

【那覇市:国際通り】



石積み、植栽、シーサーを配置し、歴史性を感じる地域に調和させた事例【那覇市：首里崎山町馬場通り】



シーサーをモチーフとし、沖縄らしさを表現した車止め
【北谷町：アメリカンビレッジ】



交差点部に緑陰を創出する樹木を植樹し、その下に琉球石灰岩のベンチを設けている事例【那覇市：小禄金城公園周辺】



景観に配慮した色彩のベンチ。ベンチ上部には誘導サインの表示も行っている【福岡県・博多駅前通り】

親和性への配慮



防護柵を横ビーム状とすることで透過性を向上させ、ドライバーへの圧迫感を軽減している。また、丸みのあるボルトを使用し、ボルトを内側に設置することで、親和性を向上させ、歩行者への安全性にも配慮している事例【那覇市：那覇東バイパス】

